

勉強会を行いました



1 テーマ

“社会を明るくする運動”について

半田保護区保護司会と半田市議会が名古屋保護観察所の社会復帰対策官 熊田太輔氏を講師に招き開催した研修会に議員全員で参加しました。研修会への参加者は67人であり、改めて更生保護の大切さを学ぶことができました。



“社会を明るくする運動”とは

“社会を明るくする運動”

9月11日 市役所大会議室にて

昭和26年の戦後、間もないころから始まった全国的な運動で、今年で75回を迎えました。犯罪や非行の防止、犯罪や非行からの立ち直りについて理解を深め、地域で見守り、支援することで新たな被害者も加害者も生まない安全で安心な地域社会を築くことがこの運動の目的です。

学びのポイント

全国において検挙人数は年々減少してきましたが、その約半分は再犯者であることが分かりました。安心で安全な地域社会を築いていくため、これからは再犯防止に向け、保護司、更生保護女性会、協力雇用主の方だけに頼るのではなく、地域住民も更生保護に対する知識を深め、協力していくことが必要であると感じました。

お知らせ

“社会を明るくする運動”の啓発活動として、11月7日(金)に保護司会、更生保護女性会の皆様と一緒に幼稚園、こども園、保育園を訪問させていただきます!

2 テーマ

「カラーユニバーサルデザイン」について

愛知県のカラーユニバーサルデザイン普及キャラバン隊(NPO 人にやさしい色づかいをすすめる会)の出前講座に応募し、議会広報誌編集委員会の委員を中心に議員と市職員で色による情報を正確に受け取れない人(色弱者)などへの配慮について学びました。



10月3日 市議会委員会室にて

「カラーユニバーサルデザイン」とは

色弱者だけでなく、一般的な色覚の方を含めて、誰に対してもきちんと正しい情報が伝わるように、色の使い方などにあらかじめ配慮することです。

学びのポイント

色の見え方が違う先天性の色覚異常とされる方(色弱者)は全国に320万人以上いて、特に男性は20人に1人の割合でいるとのことでした。スタッフとしてお越しいただいた強度の色覚異常である方からの「信号機の色識別すら困難」という説明には正直びっくりしました。市役所や議会が発行する印刷物も色弱の方には読みにくい所があったかもしれません。今後は配色や文字の大きさにも気を遣い、誰もが読みやすい紙面を作っていこうと強く思いました。